



## 大学図書館問題研究会京都支部 忘年会を開催しました。

日 時：平成 27 年 12 月 17 日 19:00～

場 所：綴（つづり）

京都市下京区烏丸通松原上ル東側因幡堂町 728

地下鉄四条駅、阪急烏丸駅から烏丸通を南下。

烏丸松原を東へ、一筋目を北へ 20M

参加者：14名

支部委員、会員、一般参加の方を含め 14 名の参加があり、それぞれの担当業務や大学図書館を取り巻く環境の最近の動向などについて意見交換を行い、多いに盛り上がりました。

### [目次]

大学図書館問題研究会京都支部忘年会を開催しました	…	1
支部委員 挨拶	…	2
新入会員 挨拶	角野 容子 …	5

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール：[kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com)（大学図書館問題研究会京都支部）

URL：<http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

## 支部委員 挨拶

大図研の年度は7月で替わります。2015年度の支部委員は9名です。例年、新年度開始に伴って支部委員挨拶を支部報に掲載していますが、セミナー参加報告記事やその他お知らせを優先したため、今号での掲載となりました。今後もより一層京都支部が盛り上がるよう支部委員全員が一丸となって頑張ります。これからも大図研京都支部をどうぞよろしくお願いいたします。

### ● 研究企画 (安東 正玄)

大図研に入ってまだ?6年目です(やっと片手を超えました。2進法ならVサインですな(笑))。

先日、大学の人事の方と話をする機会がありました。

「大学でいろいろ研修制度を設けても、その研修制度を利用してくれる人が偏っている。もっと多くの人が主体的に研修を受けて欲しい。」

その話で私は大学の授業で、「世の中には多くのデータが流れているが、そのデータの中で必要としている人にたどりついた時にデータは情報となる。」という話を聞いたのを思い出した。

「データ」も「情報」も同じ中身であっても受け取る人によって価値が代わるという話です。

英国の作家ホレス＝ウォルポール(1717～1797)の造語で「セレンディピティー」＝求めずして思わぬ発見をする能力。思いがけないものの発見。運よく発見したもの。偶然の発見。(出典：デジタル大辞泉)

という言葉がありますが、これもまさしく、流れ入るデータを情報として掴む人のことだと思えます。

情報社会と呼ばれて早何年もたちますが、本当の情報として利用できる人になれるように、皆さんも大図研で頑張りましょう。

あんど う せいげん (立命館大学図書館管理課)

### ● Web サイト・ML / 組織・財務 (金森 悠一)

昨年度より検討しておりました京都支部 Web サイトのリニューアルが完了しました。いわゆるレスポンシブ Web デザインで作成しており、スマートフォン、タブレット、ノート PC などでも見やすくなっているかと思えます。ただ、リニューアル直後につき、若干不具合が残っているかもしれません。何か問題に気がつきましたらご一報ください。

さて、見た目は変われども、お知らせする内容までは大きく変わるものではありません。イベント案内をはじめ、支部報、支部委員会報告など、例年通りのお知らせをお届けしていく予定です。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

かなもり ゆういち (京都教育大学附属図書館)

### ● 支部長 / 支部報編集 (坂本 拓)

昨年度に引き続き、京都支部の支部長をさせていただく京都大学の坂本です。最近、大学図書館をとりまく環境は予算的にも人員的にも厳しさを増す一方ですが、そんな中、会員の皆さんが大図研のメーリングリストを通して積極的に情報交換をされて

いる光景は以前にもましてよく見るようになったように思います。何かわからないこと、困っていることをメーリングリストに投げたら日本中の大学図書館の同僚が必ず答えてくれる、そのようなコミュニティは大図研以外に無いと思います。職場の環境が厳しくなっている今こそ、日本中の大学図書館の職員が連携しあえる大図研の存在はより重要性を増していると思いますので、よりたくさんの方に入会していただけるように、2015年度も京都支部は精力的に活動をしていきたいと思います。

また、大図研は困った時にいろいろと教えてくれるところ、というだけでなく、職場ではできないいろいろなことを他大学の仲間と共に楽しく企画・実現できる、経験の場でもあります。この経験の場が京都支部で言えば支部委員会になるのですが、より多くの人に支部委員会の仲間になっていただき、職場ではできない様々な企画を実現できる楽しさを知っていただきたいと思います。2015年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さかもと たく (京都大学附属図書館)

● 支部報編集 / 広報・デザイン (寺升 夕希)

大図研入会と同時に支部委員を務めて5年目になりました。本年度も支部報編集および広報・デザインを担当いたします。

会員の皆さまに新たな取り組みや情報発信、意見交換の場としての支部報を提供できればと思っております。広報・デザイン担当分野では、京都支部で開催する講演会やセミナーについて皆さんの心を掴むような案内を心がけます。

大学図書館を取り巻く環境が大きく変化する中、所属を超えて、教育や研究、大学の運営に関わる部分にまで触れる機会があることが大図研の良さではないでしょうか。これからもこのつながりがより広がるよう手助けできれば幸いです。

本年もよろしくお願いいたします。

てらます ゆうき (滋賀医科大学附属図書館)

● 支部報編集 / メールマガジン・Twitter (長坂 和茂)

早いもので、2008年に京都大学に就職し、同年に大図研に入会して、今年で7年になりました。

日常業務の方では、この4月に、工学研究科桂化学系図書室から附属図書館雑誌情報掛へ異動いたしましており、今は主に外国雑誌の契約などを担当しています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、雑誌業務を担当するようになって実感したのですが、この業務は今、オープンアクセスの進展などにより大きく変わろうとしています。変化は色々な場面で起きるので、一人で情報を追いつけるのには限界があります。そこを集団としてカバーし合える組織という点に、大図研の存在意義の一つがあるのではないのでしょうか。変革の時代には、物の見方の多様性が重要かと考えております。

今年度、支部報編集を担当となりましたので、京都支部報がそのような場となるよう努めます。

それでは、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

ながさか かずしげ (京都大学附属図書館)

● 副支部長 / 組織・財務 / 支部報印刷・発送 (野間口 真裕)

早いもので、京都支部で支部委員7年目となりました。今年度も組織財務の主担当を

継続させていただくこととなりました。

今年度はグループへの移行のため、規約の変更や予算などにつきまして色々と考えていかなければなりません。名前からして”京都研究グループ?””京滋研究グループ?”となかなか決めがたいものです。変化させること、させないこと、皆様のご意見いただけましたら幸いです。よろしくお願いいたします。

のまぐち まさひろ (京都大学附属図書館)

● メールマガジン / 研究企画 (原 健治)

今年度も支部委員を担当させていただきます。

本学では、今夏にシステムリプレースを実施いたしました。パッケージのベンダーを変更するというかなり無謀な取り組みでしたが、内容の評価は別にして現在安定して稼動しております。

今回のリプレースにあたり、参考となったのはやはり他大学の導入実績と評価に関する情報でした。大学図書館においてはさまざまなチャンネルがあり、それらを活用して情報収集できる環境があったのは大きな財産です。

このようなチャンネルの一つとして、設置母体や規模の大小に関わらず様々な大学図書館同士のネットワークとして、その網を張る一助になればと考えています。

大学の事務職員として図書館に携わる期間は残り僅かだとは思いますが、引き続きよろしくお願いいたします。

はら けんじ (同志社大学図書館)

● メールマガジン / Web サイト・ML (山上 朋宏)

支部委員として3年目を務めさせていただきます。昨年度に引き続きメールマガジンとWeb サイト・MLを担当いたします。

メールマガジンでは昨年度からイベント案内の新しい試みとして、その月に締切日があるイベント情報の掲載も始めましたがいかがでしょうか。会員の皆様にとって有益な情報をお伝えできるように努めますので、ご意見等いただけると幸いです。

Web サイト・ML 担当も2年目になりますので、より迅速に支部の最新情報が反映できるよう心掛けていきます。

まだまだ至らない点も多いかと思いますが、1年間どうぞよろしくお願いいたします。

やまがみ ともひろ (京都大学経済学研究科・経済学部図書室)

● 副支部長 / 支部報印刷・発送 (山下 ユミ)

今年度も支部報印刷と発送を担当しています。支部報やイベントのお知らせ等を印刷し、皆様のもとへ発送します。

住所やお勤め先の変更がありましたら、大図研京都支部にもお知らせくださいね。

私は医科大学に勤めていて異動の機会は少なく、他の分野の図書館の方とお会いすることはほとんどありませんが、大図研のおかげで、いろいろな分野の図書館の方とお会いして情報交換ができて、とても勉強になりますし、仕事にも役立っています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

やました ゆみ (京都府立医科大学附属図書館)

## 京都支部：新入会員挨拶

新しく京都支部に加入して下さった会員の皆様にご挨拶をいただきました！今後も順次掲載してまいりますので、どうぞお楽しみに！

### ● 角野 容子さん

このたび新入会員のご挨拶をさせていただくこととなりました、京都教育大学附属図書館の角野容子と申します。実は大図研京都支部報に執筆させていただくのは2回目になりまして、No.292 (2013/2/15 発行) にてワンディセミナー「立命館大学探訪」の参加報告を書かせていただいたことがあります。その節はお世話になりました。当時は大図研に入会しておらず、興味と日時が合致すればワンディセミナーなどにふらりと参加するような形でしたが、2015年3月に近畿3支部合同例会「日本十進分類法新訂10版の全貌」に参加した際に、遅まきながら入会させていただきました。

図書館司書を目指したきっかけについてはよく覚えてはいないのですが、子どもの頃から家族が本を惜しまず与えてくれる環境であったことや、近所に移動図書館が来てくれていたことなど、本がある生活が当たり前であったからかもしれません。今思えばとても恵まれていたと思います。その頃から、推理小説や科学読み物、民話や伝承などの分野を好んで読んでいました。中学生の頃には漠然と司書になろうと考えていましたが、今でも特別読書家というわけでもなく、活字期と活字離れ期を周期的に繰り返して生活しています。

縁あって2008年に京都教育大学に就職し、今年で7年が経ちました。カウンター業務やILL業務などを経験して、現在は雑誌および図書の目録業務や利用者教育などを担当しています。大学図書館に就職して驚いたのが、館を超えた研修やセミナーが充実しており、全国規模で活発に情報交換が行われていることでした。また、学生に役立つものや教員の研究に必要なものというようにサービスの対象が明確で、それぞれの大学によって特色があることもとても面白いと感じています。このような大学図書館の特徴を最大限活用する場として大図研はとても魅力的な場所なのですが、確固たる信念で入会を断っていたわけでもなく、なんとなく入会せずに時間ばかりが経って、ふと自分の7年間の仕事やこの先の将来像を考えた時に、このままではきっと何も成長しないだろうと思ひ入会に至りました。

とはいえ、まだまだメーリングリストや支部報を受け取って日々流し読むくらいで、劇的な変化があったとか立派なことができたとかいうわけではないのですが、日々感じる勉強不足に少しでも効果があればと思っております。

最後に、現在の自分の業務課題と展望について述べておきたいと思っております(要するに「今度こんなことやってみたいんですよ～」という話です)。長く雑誌を担当しており、それなりに愛着のある業務なのですが、カウンターには雑誌の利用(複写や貸出の可否、バックナンバーの場所など)について問い合わせがとても多く、案内のわかりづらさを日々実感しています。他大学さまの工夫を参考にしたりして、もっとわかりやすさ・使いやすさを工夫できないかと対策を考えています。また、当館は雑誌の貸出はしておりませんが、気軽に読める一般誌も多いため、フランクに最新情報を入手できる媒体としてもっと館内で宣伝できないかなと思ひ、ミニコーナー企画なども夢想しています。雑誌はそのコレクションの維持に多大な費用を必要とすることもあり、「もっともっと活用してもらいたい！」というのが担当者の心情でして、何か面白いことができたならと考えています。

こうした自分の業務に直結することからそうでないことまで、いろいろな図書館や大学や学術に関することなどを勉強させていただければと思っております。まだまだ頼り

ない会員ではありますが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

かどの ようこ (京都教育大学附属図書館)

◇ 会費納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

大図研会費および京都支部会費の納入をお願いしているところですが、納入率は依然思わしくない状態にあります。2014年度以前の会費をお納めいただいていない会員のみなさま、一刻も早い会費の納入にご協力いただきますようお願い致します。

**会費は、¥7,000 (大図研会費：¥5,000+京都支部会費：¥2,000) です。**

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員におことづけください。

**郵便振替振替口座番号 01090-4-5904 大学図書館問題研究会京都支部**

また、ご不明な点は大学図書館問題研究会京都支部 (kyoto@daitoken.com) まで。